

令和 年度 「高等学校 日本史探究」(35・清水・日探704)シラバス案

教科	地理歴史科	単位数	3単位	学科		学年／学級	
----	-------	-----	-----	----	--	-------	--

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<p>・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる。</p> <p>・我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察、構想、表現する。</p> <p>・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国や他国の伝統や文化を尊重する。</p>
使用教科書／教材	高等学校地理歴史科 「高等学校 日本史探究」(35・清水・日探704)

科目の評価の観点		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

●学習の計画と評価の方法

月	配当時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
4月	1	序	序 私たちはなぜ歴史を学ぶのか	<ul style="list-style-type: none"> 歴史への関心を高めるとともに、歴史を学ぶ視点や意義、歴史資料の特性についての関心と課題意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学や高校でのこれまでの歴史学習を振り返り、どのような資料や見方、学びの方法があるかなどに着目させ、学習への意欲を喚起する。 	・【態度】【思判表】 ワークシート・発表
		3第1編 原始・古代の日本と	第1章 黎明期の日本列島と歴史的環境 1 日本列島域の旧石器文化とはどのようなものか 2 縄文人はどのような暮らしをしていたのか 3 弥生人はどのような暮らしをしていたのか	<ul style="list-style-type: none"> 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 黎明期の日本列島と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組む、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 原始社会の成立とその後の推移、文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせ、原始・古代の日本についての問いを表現するための視点や素材を準備する。 	・【態度】【思判表】 ワークシート・ノート・発表 ・【知】 ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
5月	1	東 ア ジ ア	第2章 歴史資料と原始・古代の展望	<ul style="list-style-type: none"> 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 原始社会の成立とその後の歴史的展開に関する複数の適切な資料を収集・活用し、有用な情報を選択し、読み取らせたり図表にまとめたりさせ、原始・古代の日本についての仮説を立てることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【技】地図・年表・諸資料等
			第3章 古代の国家・社会の展開と画期			
			第1節 古代国家の形成と東アジア	<ul style="list-style-type: none"> 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 古代国家の形成、古代の政治・社会や文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
5月	10		第2節 古代国家の推移と社会の変化	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の再編と変容、古代の社会や文化の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
			第2節 古代国家の推移と社会の変化	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の再編と変容、古代の社会や文化の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
		4	第2編 中世の日本と世界	第1章 中世への転換と歴史的環境		
			16 中世社会はどのようにして成立したのか 17 国家の武力はだれがになったのか 18 中世の国家はどのように形成されたのか 19 「武者の世」はどのようにしてはじまったのか	<ul style="list-style-type: none"> 政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代の転換を理解する。 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 古代から中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境に関する諸資料から有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせ、中世の日本についての問いを表現するための視点や素材を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知】ワークシート・ノート・小テスト
		1	第2章 歴史資料と中世の展望	<ul style="list-style-type: none"> 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 前章の学習を踏まえ、古代からの時代の変化に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 歴史資料と中世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中世の特色に関する複数の適切な資料を収集・活用し、有用な情報を選択し、読み取らせたり図表にまとめたりさせ、中世の日本についての仮説を立てることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【技】地図・年表・諸資料等
		14	第3章 中世の国家・社会の展開と画期	第1節 武家政権の成立と展開		
			20 鎌倉幕府はどのようにして成立したのか 21 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したのか 〈もっと知りたい日本史〉4 硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島 〈地域の歴史〉1 東国御家人の移住—西遷御家人・北遷御家人 22 鎌倉仏教の特色は何か 23 鎌倉文化の特色は何か 24 モンゴル(元)はなぜ日本を攻め取れなかったのか 25 鎌倉幕府はなぜ滅びたのか	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解する。 公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 武家政権、宗教と文化の展開について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の伸長、社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
6月			第2節 武家政権の変容と中世の社会 26 建武政権はなぜ崩壊したのか 27 室町幕府の政治はどのように推移したのか 28 元寇後の東アジアの交流はどのようなものか 〈もっと知りたい日本史〉5 中世の随筆から読み解く社会と「唐物」 〈地域の歴史〉2 古代・中世の蝦夷地とアイヌ 29 一揆はどのようにして生まれ、中世の自治を支えたのか 30 中世の産業は民衆生活をどのように豊かにしたのか 31 中世の商業・流通はどのようにうごいたのか 32 戦国時代はなぜはじまったのか 33 戦国大名の領国支配の国際的背景とは 34 14～16世紀の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉3 関東の戦国時代—後北条氏による関東統一への道 〈女性の歴史〉2 「戦う」女性たち	<ul style="list-style-type: none"> 政治や文化の多元化、多様化、国際関係の変化などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化の関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 武家政権や社会の変容と文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権、国際情勢や社会、文化の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
7月	4	第3編	第1章 近世への転換と歴史的環境 35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか 36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか 37 秀吉の政治と対外政策はどのようなものか 38 信長・秀吉の時代の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉4 九州地方と東アジア海域世界 〈もっと知りたい日本史〉6 秀吉の対外政策	<ul style="list-style-type: none"> 政治・経済政策や対外関係を基に中世から近世への時代の転換を理解する。 村落や都市の支配の変化、アジアやヨーロッパとの交流などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 中世から近世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境に関する諸資料から有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめさせ、中世の日本についての問いを表現するための視点や素材を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知】ワークシート・ノート・小テスト
	1	1	第2章 歴史資料と近世の展望	<ul style="list-style-type: none"> 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 前章の学習を踏まえ、中世からの時代の変化に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 歴史資料と近世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 近世の特色に関する複数の適切な資料を収集・活用し、有用な情報を選択し、読み取らせたり図表にまとめたりさせ、近世の日本についての仮説を立てることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【技】地図・年表・諸資料等

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
		14	第3章 近世の国家・社会の展開と画期			
			第1節 幕藩体制の成立と近世の社会			
			39 幕藩体制はどのようなものか 40 江戸時代の社会はどのようなものか 41 近世の国際関係はどのように形成されたのか 〈地域の歴史〉5 近世の蝦夷地とアイヌの人々 〈地域の歴史〉6 近世の琉球と奄美 42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか 43 江戸時代の産業はどのように発展したのか 44 江戸時代の交通と都市はどのように発達したのか 45 儒学と学問はどのように展開したのか 46 江戸時代中期までの文化の特色は何か 〈もっと知りたい日本史〉7 近世社会を構成したさまざまな人々 〈女性の歴史〉3 江戸時代の遊女	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支配秩序や対外関係、技術・産業・文化の展開などを基に、幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解する。 ・ 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 幕藩体制の確立や近世の社会と文化について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幕藩体制の確立、社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・ 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
			第2節 幕藩体制の動揺と社会の変化			
			47 吉宗はどのような政治をおこなったのか 48 村と町はどのように姿をかえていったのか 49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか 50 外国船の接近は幕府にどのような影響をあたえたのか 51 幕府・諸藩はどのような改革をおこなったのか 52 近世後期の文化の特色は何か 53 近世後期の学問や思想はどのように発達したのか 〈もっと知りたい日本史〉8 江戸時代の朝幕関係 〈地域の歴史〉7 元禄大地震と大津波	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治体制や社会の動揺、産業・学問の発展、庶民の生活や文化などを基に、幕藩体制の変容、庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ・ 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 近世の政治や社会の変容、近代化の基盤について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治や社会の変化、産業・学問の発展、新たな文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・ 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 ・ 歴史総合や第4編の学習との接続を意識して、近代化の萌芽について気づかせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
1 0 月		4	第1章 近代への転換と歴史的環境			
		第4編	54 日本はなぜ開港したのか 55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか 56 尊王攘夷運動はどのように展開したのか 57 江戸幕府はどのように滅びたのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外関係や政権の転換を基に近世から近代への時代の転換を理解する。 ・ 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代への国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 近代への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近世から近代への国家・社会の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせ、近代の日本についての問いを表現するための視点や素材を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知】ワークシート・ノート・小テスト
		1	第2章 歴史資料と近代の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 ・ 前章の学習を踏まえ、時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・ 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ・ 歴史資料と近代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代の特色を示す複数の適切な資料を収集・活用し、有用な情報を選択し、読み取らせたり図表にまとめたりさせ、近代の日本についての仮説を立てることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【技】地図・年表・諸資料等
		9	第3章 近現代の地域・日本と世界の画期と構造			
			第1節 近代国家の形成 58 新政府はどのような国家をめざしたのか 59 明治政府はどのような経済政策を進めたのか 60 明治政府の宗教・文教政策はどのようなものだったのか 61 明治初期の対外関係はどのように変化したのか 〈地域の歴史〉8 近代の蝦夷地・北海道 〈地域の歴史〉9 近代の琉球・沖縄 62 欧米文化は社会にどのような影響をあたえたのか 63 自由民権運動はなぜはじまったのか 64 自由民権運動はなぜ衰退したのか 65 立憲体制はどのようにして確立したのか 66 条約改正はどのようにして達成されたのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、文明開化の風潮、条約改正などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ・ アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変容、欧米の思想・文化の影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と諸外国との関係の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 明治維新や国民国家の形成、産業の発展の経緯、近代の文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近世以来の対外関係の変化、地域社会の変化、欧米の思想・文化の影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・ 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
		4	67 日清戦争前後の国内政治はどのようなものか 68 日清戦争はなぜおきたのか 69 日清戦争後の東アジア情勢はどのように推移したのか 70 日露戦争はどのような戦争だったのか 71 日露戦争後の東アジア情勢はどのように変化したのか	<ul style="list-style-type: none"> 日清・日露戦争などを基に、立憲体制の推移や展開、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 日清・日露戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 アジアや欧米諸国との関係の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	・戦争が及ぼした影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめさせる。 ・前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。	・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
1 1 月		4	72 近代産業はどのように発展したのか 73 社会問題に政府はどのように対応したのか 74 明治の思想・教育・学問の特色は何か 75 明治文化の特色は何か 〈女性の歴史〉4 製糸業と工女 〈もっと知りたい日本史〉9 近代漫画の先駆者北沢楽天	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命の展開、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代文化の特色を理解する。 産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展と近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 近代の産業の発展と近代の文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	・産業の発展の背景と影響、教育の普及とその影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。	・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
		6	第2節 政党政治と大衆社会 76 政党政治はどのように発展したのか—明治から大正へ 77 第一次世界大戦に日本はどのように関わったのか 78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか 79 第一次世界大戦後の日本外交はどのようなものか 80 大正デモクラシーとはどのようなものか 81 政党内閣制はどのようにして確立したのか 82 大正前後の文化の特徴は何か 〈女性の歴史〉5 新しい女 〈地域の歴史〉10 関東大震災	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、政治参加の拡大の意義、アジアや欧米諸国との関係の変容、大衆社会の形成を理解する。 地域社会における労働や生活の変化、第一次世界大戦が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、国民の政治参加の拡大と日本の工業化の進展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 アジアや欧米諸国との関係の変容や大衆社会の形成について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	・政治参加の拡大や国際関係の変容、大衆社会の形成などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。	・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
1 2 月		9	第3節 第二次世界大戦と日本の社会 83 昭和初期の経済不況はどのようなものだったのか 84 昭和初期の外交はどのようなものだったのか 85 ファシズムはどのようにして台頭したのか 86 日本はなぜ国際連盟を脱退したのか 87 軍部はどのようにして台頭したのか 88 日中戦争の長期化のなかでつくられた戦時体制とは 89 第二次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか 90 アジア太平洋戦争はどのように推移したのか 91 戦時下の国民生活はどのようなものだったのか 92 アジア太平洋戦争はどのようにして終結したのか 〈地域の歴史〉11 都市への空襲と模擬原爆投下訓練 〈もっと知りたい日本史〉10 戦時下の植民地と満州	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ・ 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 第二次世界大戦に至るまでや戦時中の政治や社会、国民生活の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・ 前章で表現した仮説を踏まえて授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
1 月		12	第4節 現代の日本と世界 93 占領政策はどのように進められたのか 94 占領下の経済と政治はどのように推移したのか 95 戦後の経済政策はどのように転換したのか 96 戦後の人々の暮らしはどのようなものか 〈もっと知りたい日本史〉11 アジアの解放 〈地域の歴史〉12 復員と引揚げ—舞鶴港 97 冷戦は占領政策にどのような影響をあたえたのか 98 独立後の政治はどのように推移したのか 99 55年体制はなぜ成立したのか 100 独立後の日米関係はどのように変化したのか 〈地域の歴史〉13 沖縄と基地 〈女性の歴史〉6 女性のファッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係を理解する。 ・ 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 第二次世界大戦後の社会や政治について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	第二次世界大戦前後の政治や社会の類似や相違、冷戦の影響などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 ・科目のまとめを意識して授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 ・【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト

月	配当 時間	編	学習内容(目次)	学習のねらい(目標)	指導上の留意点	評価の方法
2 月			101 高度経済成長はなぜおきたのか 102 高度経済成長は社会にどのような影響をあたえたのか 103 55年体制下の政治はどのように推移したのか 104 1990年代の政治や経済におきた変化とは 105 日本はこれからどのような道を歩むのか <もっと知りたい日本史>12 『昭和天皇実録』にみる昭和天皇の幼少期 <もっと知りたい日本史>13 戦後の文化	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、戦後の経済や対外関係、国民生活の変容、現代の政治や社会の枠組みを理解する。 冷戦の推移と終結、グローバル化の進展の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦後政治の展開、日本経済の発展、戦後の国際社会における日本の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 現代の政治や社会の枠組みにつながる戦後の政治や経済、外交、社会について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の国際秩序の変容、グローバル化の進展、生活や社会の変化などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりさせる。 科目のまとめを意識して授業を展開し、根拠や論理を踏まえて筋道を立てて説明させるなど、歴史に関する諸事象に複数の解釈が成り立つことや、様々な画期を示すことができることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】【思判表】ワークシート・ノート・発表 【知技】地図・年表・諸資料等・ワークシート・ノート・小テスト
3 月	1	主題学習	第4章 近現代の歴史の画期	<ul style="list-style-type: none"> 日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの近現代の学習で見出した画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、日本の近現代を通じた歴史の画期を見出し、根拠を示して表現する。 第3章までの学習を振り返るとともに、科目のまとめである次の学習へのつながりを見出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 近現代の地域・日本と世界について学習した内容を振り返らせ、図や文章、年表などを用いて構造的に整理して捉えさせ、近現代における画期を表現させるとともに、成果を共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関意】【思判表】ワークシート、ノート、小レポート
	2	主題学習	第5章 現代の日本の課題の探究 1. 江戸時代の火山災害 2. 地域からみた日本の戦後史 3. 年中行事から探る伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習の成果を活かし、主題に関する歴史的経緯を踏まえて、現代日本の課題を理解する。 歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、適切な主題を設定して多面的・多角的に考察、構想して表現する。 これまでの自身の学習を振り返って調整するとともに、生徒自身が主体となる社会への見通しを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 科目のまとめとして、社会や集団と個人、世界の中の日本、伝統や文化の継承と創造について、これまでの学習を踏まえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りに関連した主題を設定させる。 生徒が、歴史的な経緯や根拠を踏まえた展望を構想することができるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】【思判表】小レポート・発表・意見交換・討論 【知】レポート・発表・振り返りのワークシート